

# 山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者  
中塚、別府
2. 山行スタイル  
雪山
3. 目的  
北アルプス初級冬山登山
4. 山域／ルート  
北アルプス／白馬八方尾根スキー場－唐松岳ピストン
5. 交通手段  
自家用車
6. 行動記録

<入山日 2023 年 1 月 8 日～下山日 2023 年 1 月 9 日>

## 第1日

神戸 5 時－白馬八方尾根スキー場駐車場 11 時半－リフトトップ(八方池山荘前)13 時  
－(散策)－八方尾根 2100m 付近 14 時半－八方池山荘 15 時

## 第2日

八方池山荘 5:30－第1ケルン付近－6:15 八方池山荘 7:00－第1ケルン 7:35－  
8:00 八方池山荘 8:15－ゴンドラ上駅 8:50－駐車場 9:20

## 7. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

### a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

天気の予想から 1 月 9 日に八方池山荘から唐松岳ピストンの計画をしたが、強風のため行動を中止して下山した。早朝出発したが強風で視界も悪く一旦小屋へ引き返し、明るくなってから再度出発したが、結局第 1 ケルンで撤退して小屋に引き返した。真上は青空だったが、強風で雪煙が舞って上部が見えず、時おり体が飛ばされた。

### b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

ヒヤリハットは無し

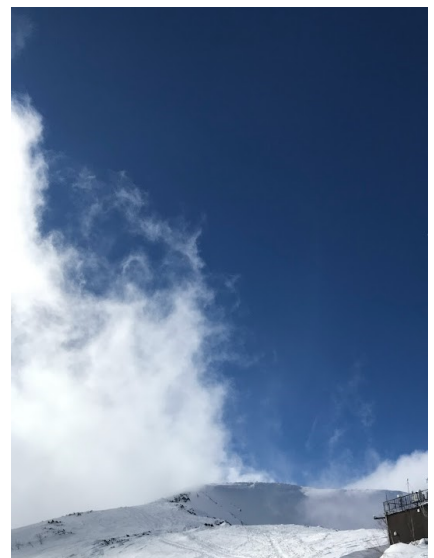
但し非常に強い風のため二、三度体が飛ばされた。広い尾根上なので問題はなかったが、狭い雪稜では転落の危険があったと思われる。

### c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

強風での中止の判断について話をした

## 8. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

・丸山まではワカンの方が楽かと思っていたが、出会ったほぼ全員がアイゼンで登ったようだ。また実際下の樺付近までワカンで歩いたが、ルート上は沈んでもアイゼンで足首くらいまでだと思う。



- ・天気予報が好天であっても、強風だと雪煙で展望が効かない。顔を上げるのもつらい。今回は20m/sくらいあったと思うが、この中で地形図やコンパスを使うのは難しいと感じた。
- ・八方池山荘は電気、水道等が来ているのか、夜間も電灯が使えるし、トイレもウォシュレットで快適。宿泊者も少なく、二人で暖かく広い部屋が使えた。
- ・下山の際、強風のためリフト、ゴンドラが運休。上部のリフト 2 本は歩きで下山したが、ゴンドラは長いので大変。交渉して並行するリフトで途中まで下りることが出来たが、残りはまた歩き。それでも払い戻しは無し。「なんでや！」とちょっと怒り……

## 9. 感想

今回の風はこれまでの経験の中で最強だった。とても登山を継続する気にならなかったし、結果として撤退が正解だったと思う。



直前まで迷ったけど、いくつかの気象予報を見ても 8 日午後から 9 日午前の天気が良好というのは同じ。風はばらつきがあったけど、12-20m/s。よし行こう、と 9 日に唐松岳ピストンすると決めた。しかし 8 日は比較的穏やかな

天候で、結果的にはこの日の方が登山には良い気象条件であったかもしれない。でも下山してきた登山者に聞くと全パーティがホワイトアウトで途中で下山してきたとのこと。

天候と関係ないかもしれないが、BC のボーダーも行方不明になってるし。

結局両日ともダメだったのかもしれない。

行く前からさんざん言われていたが、冬の後立山はホントに難しい。



報告者氏名 中塚文教  
2023 年 1 月 11 日